

令和8年度 愛媛大学大学院教育学研究科

2月募集 入学試験問題

専攻名	領域名	試験科目名
心理発達臨床専攻	臨床心理学領域	専門科目(心理学)

【論述問題】

問1

科学的概念の学習における素朴概念の役割について述べなさい。

問2

Freud, S.が創設した精神分析において、Freud, S.の亡き後に発展した理論の一つに対象関係論がある。Winnicott, D.は対象関係論を発展させ、「支持的な環境(holding environment)」や「ほどよい母親(good enough mother)」の考えを提唱した。

- (1) 「支持的な環境(holding environment)」と「ほどよい母親(good enough mother)」について、具体的に説明しなさい。
- (2) 実際の臨床心理面接において、「支持的な環境(holding environment)」と「ほどよい母親(good enough mother)」の考えをどのように活かしていくのかについて、あなたの考えを述べなさい。

問3

家族療法(Family Therapy)において、家族に関わる際に注意すべきことを、下記のキーワードを用いながら説明しなさい。

- 三角関係(Triangulation)
- ジョイニング(Joining)

問 4

大学生 A (女性 21 歳) が心理相談室に来所した。A は「1 か月前くらいから教室に入るのが怖くなった。このままでは単位を落としてしまう」と訴えた。これまでに、心理相談室の来室や精神科・心療内科への受診歴はなく、単位の取得状況にも問題はみられなかった。友人との関係は良好であり、家族との間に軋轢などはなく家族関係にも不満はないという。睡眠障害や食欲の乱れは見られないが、「次第に電車やバスに乗ることが怖くなり、外出が難しくなり、誰かに見張られているような不安や自分自身の悪口を友人が言っているような気がする」ことが語られた。以上を踏まえ、心理相談員が、インテーク面接で行う対応について、(1) 情報収集、(2) 心理状態の理解、(3) 面接での基本的対応、(4) 今後の支援方針に分けて論じなさい。

【選択問題】

問 5

以下の A)～T)の問いにおいて、括弧の中に入る最も適切な解答を①から⑤の中から1つ選びなさい。

A) State-Trait Anxiety Inventory の考案者は()である。

- ① Brodman, K.
- ② Zung, W.W.K.
- ③ Spielberger, C.D.
- ④ Beck, A.T.
- ⑤ Edwards, A.L.

B) Sternberg, R.L.が提唱した「愛の三角形モデル」は、「Passion - Commitment - ()」を頂点とすることで様々な愛の形を説明している理論である。

- ① Esteem
- ② Communication
- ③ Envy
- ④ Aspiration
- ⑤ Intimacy

C) 妄想障害は、持続的な妄想が()以上持続する場合に該当する。

- ① 1ヵ月
- ② 2ヵ月
- ③ 3ヵ月
- ④ 4ヵ月
- ⑤ 5ヵ月

D) 抗不安薬として最も適切ではない選択肢は()である。

- ① ジアゼパム
- ② アルプラゾラム
- ③ ロフラゼプ酸エチル
- ④ アトモキセチン
- ⑤ タンドスピロンクエン酸塩

E) A(90点)、B(80点)、C(100点)、D(70点)、E(60点)の不偏分散は()である。

- ① 400
- ② 1000
- ③ 250
- ④ 80
- ⑤ 200

F) ロールシャッハ・テストは、スイスの精神科医Rorschach, H.によって考案された投映法検査の一種であり、自由反応段階と()と限界吟味段階の3段階で構成されている。

- ① 質問段階
- ② 確定段階
- ③ 投映段階
- ④ 再認段階
- ⑤ 解釈段階

G) 臨床心理面接において、面接者とクライアントの面接関係やコミュニケーションの在り方を規定する恒常的なルールや要因を()と呼ぶ。

- ① 徹底操作
- ② 転移解釈
- ③ 多重関係
- ④ 面接構造
- ⑤ 限界設定

H) アメリカの精神科医であるKubler-Ross, E.は、死の準備段階のプロセスとして()の5段階を提唱した。

- ① 受容 → 怒り → 取引 → 抑うつ → 否認
- ② 怒り → 否認 → 取引 → 受容 → 抑うつ
- ③ 取引 → 否認 → 抑うつ → 怒り → 受容
- ④ 抑うつ → 否認 → 取引 → 受容 → 怒り
- ⑤ 否認 → 怒り → 取引 → 抑うつ → 受容

I) 平成25年から施行された「いじめ防止対策推進法」に基づき、重大事態が発生した場合に設置される、公平・中立な立場から事実関係を調査するための組織を()と呼ぶ。

- ① 保険部会
- ② 第三者委員会
- ③ 生徒指導部会
- ④ 要保護児童対策地域協議会
- ⑤ 社会福祉協議会

J) Lewin, K.は、個人を取り巻く環境や状況、他者との関わりなどの要因によって、その人の行動が影響を受けることを()として提唱した。

- ① 精神分析理論
- ② 認知行動理論
- ③ 場の理論
- ④ 愛着理論
- ⑤ 社会的学習理論

K) P-F スタディでは、()と呼ばれる反応が世間一般の常識的な反応にどれだけ一致しているか、すなわち、常識的な方法で社会に適応できるかどうかを見る指標が存在する。

- ① 反応転移
- ② 集団凝集性
- ③ 集団一致度
- ④ 超自我因子
- ⑤ 平凡反応

L) ポジティブ行動支援では、()に基づき行動支援計画を作成する。

- ① シェマ
- ② 応用行動分析
- ③ レディネス
- ④ トラウマ
- ⑤ エディプス期

M) 人格検査の一種である作業検査法では特定の作業課題を与えて、()全体や、時間的経過に伴う()の変化などから性格傾向を知ろうとする。

※括弧内には同じ文言が入る

- ① 作業態度
- ② 作業意欲
- ③ 虚偽尺度
- ④ 人格特性
- ⑤ 作業量

N) 動作法を実施する際には筋緊張を緩めたり身体を動かしたりする練習の際には、クライアントの()な努力を尊重して進める。

- ① 自己肯定的
- ② 客観的
- ③ 自尊的
- ④ 主体的
- ⑤ 依存的

O) 調査的インタビューは、対面式の直接的な相互作用を通して行われるデータ収集法であり、()なデータを収集する方法のひとつである。

- ① 質的
- ② 名義尺度的
- ③ 心理検査的
- ④ 順序尺度的
- ⑤ 量的

P) レビー小体認知症は、(1) ()、(2) 認知機能の変動、(3) パーキンソン症状が三大特徴であり、アルツハイマー型認知症とは異なる臨床像を示すが、早期から適切な診断と支援を受けることで、本人と家族の生活の質を保つことができる。

- ① 幻聴
- ② 幻視
- ③ 顕著な記憶障害
- ④ 見捨てられ妄想
- ⑤ 脳にアミロイドβやタウタンパクが蓄積

Q) ホスピスケアの目的は、癌などの終末期にある患者とその家族を対象とし、身体的な痛みだけでなく、精神的・社会的・スピリチュアルな苦痛にも配慮しながら、延命よりも()の改善を重視することである。

- ① ADL
- ② QOL
- ③ SOC
- ④ FIM
- ⑤ CDR

R) 職場復帰支援に関する文章として、最も正しい選択肢は()である。

- ① 復職訓練は正式な職場復帰決定前に開始する
- ② 心理士と主治医の連携においては当該労働者の同意は不要である
- ③ 傷病手当金については職場復帰の見通しが立つまで説明しなくてもよい
- ④ 職場復帰においては休職に入る前の部署とは異なる部署に配置転換させることが原則である
- ⑤ 産業保健分野では産業医と主治医は同一医師が望ましい

S) 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律に基づいた取組として、最も適切な選択肢は()である。

- ① 健康経営の推進
- ② 産業医の選任
- ③ ハラスメントの防止
- ④ 円滑な職場復帰の支援
- ⑤ 過重労働による健康障害の防止

T) 精神障害などにより財産管理などの重要な判断を行う能力が十分でない人々の権利を守り、支援する制度として、最も適切な選択肢は()である。

- ① 医療監察制度
- ② 自立支援医療制度
- ③ 成年後見制度
- ④ 高額療養費制度
- ⑤ 生活福祉資金貸付制度

受験番号

令和8年度 愛媛大学大学院教育学研究科

2月募集 入学試験解答用紙

専攻名	領域名	試験科目名
心理発達臨床専攻	臨床心理学領域	専門科目(心理学)

【論述問題】

問1

出題意図

子ども達が学習を行う過程において、素朴概念の理解とそれを踏まえての学習指導は重要な観点である。同時に、スクールカウンセラーなど、心理臨床家として学校現場とかわる際においても、子ども達の学習・教師の学習教授に関する教育心理学的・学習心理学的知見は不可欠である。本専攻が教育学研究科に所属している組織であることも踏まえた場合、受験生には学校教育に関する知識も必要であり、本問いは、その点の理解を確認することを目的としている。

受験番号

令和8年度 愛媛大学大学院教育学研究科

2月募集 入学試験解答用紙

専攻名	領域名	試験科目名
心理発達臨床専攻	臨床心理学領域	専門科目(心理学)

【論述問題】

問2

出題意図

本専攻が求める「クライアントのライフステージを踏まえた理解と、生涯を通じた支援」に繋がる人材かどうかを確認するため、臨床心理学の専門用語をどのように理解し、それらの用語を実際の臨床心理面接でどのように適用していくかの考えや姿勢をみたい。

(1) 解答例

「支持的な環境(holding environment)」

乳幼児が健やかに成長するために必要な、母親の保護的で支持的な環境を指す。

「ほどよい母親(good enough mother)」

母親が子どもに完璧ではなくとも、適度の世話をすることによって、心理的自立を少しずつ促進させる機能を指す。

受験番号	
------	--

令和8年度 愛媛大学大学院教育学研究科

2月募集 入学試験解答用紙

専攻名	領域名	試験科目名
心理発達臨床専攻	臨床心理学領域	専門科目(心理学)

【論述問題】

問3

出題意図

心理療法の中でも家族療法に関する知識を問う問題である。心理臨床場面においては、クライアントのみでなく、その家族への関わりは重要であり、家族並行面接ではなく同席面接も場合によっては必須となる。その家族への関わり方について注意すべきことを問う設問は本大学院の目指す人材に必要な知識の一つと考え、出題した。

受験番号	
------	--

令和8年度 愛媛大学大学院教育学研究科

2月募集 入学試験解答用紙

専攻名	領域名	試験科目名
心理発達臨床専攻	臨床心理学領域	専門科目(心理学)

【論述問題】

問4

出題意図

大学院では臨床心理士および公認心理師を目指す大学院生が心理相談室に来所したクライアントに対して院生が指導教員と協働して臨床心理学的アプローチや心理的支援を実践している。本大学院として求める人材は、大学院生自身が心理面接構造を意識しながら、クライアントを受理し、心理面接が継続できるかどうかを見立てることができる能力を必要とする。受験生は全般性社会不安障害が疑われるクライアントに対して情報収集・心理状態の理解・面接の基本的対応・今後の支援方針など多面的な角度で対応できる能力を有するかどうかを判断するために出題している。

令和8年度 愛媛大学大学院教育学研究科

2月募集 入学試験解答用紙

専攻名	領域名	試験科目名
心理発達臨床専攻	臨床心理学領域	専門科目(心理学)

【選択問題】

問5

A) 3	B) 5	C) 1	D) 4	E) 3
------	------	------	------	------

F) 1	G) 4	H) 5	I) 2	J) 3
------	------	------	------	------

K) 3	L) 2	M) 5	N) 4	O) 1
------	------	------	------	------

P) 2	Q) 2	R) 1	S) 5	T) 3
------	------	------	------	------